

ふちゅう 町議会だより

第169号

令和5年5月
広島県府中町議会



みんなで入ろう町内会 (関連記事14p)

3月定例会

- 5年度予算 脱炭素の推進を新たな柱に 2~4
- 14人が町政を問う 一般質問 5~12
- 常任委員会レポート 13
- 2人の議員が自治功労者表彰受賞 14

YouTubeで公開中!



定例会の録画映像を
配信しています。

府中町議会【公式】 検索

※視聴環境により、通信料がかかる場合があります。

脱炭素の推進を新たな柱に

世代に継承するまちづくり ～

また特別会計では、国民健康保険特別会計は被保険者数が減少傾向にあり、対前年度比5500万円減、介護保険特別会計は給付費等の利用実績を踏まえて、対前年比4100万円減、後期高齢者医療特別会計は後期高齢者人口が

令和5年度予算は、一般会計が192億2580万円、前年度に比べて7・4%増となりました。増額は2年ぶりで、JR向洋駅周辺整備や子育て支援策の強化に加え、デジタル化、脱炭素化の推進など、町を取り巻く社会情勢の変化にも対応した予算となっています。

令和5年第一回定例会を3月10日から22日までの13日間の会期で開催し、新年度予算を含む町提出議案25件と議員提出議案1件の審議、一般質問などを行いました。
このうち、新年度予算に関連する議案は、予算特別委員会（宮本彰委員長、益田芳子副委員長）を設置して審査しました。また審議の結果、本定例会に提出された議案は全て原案どおり可決しました。

令和5年度予算案を可決
— 3月定例会 —

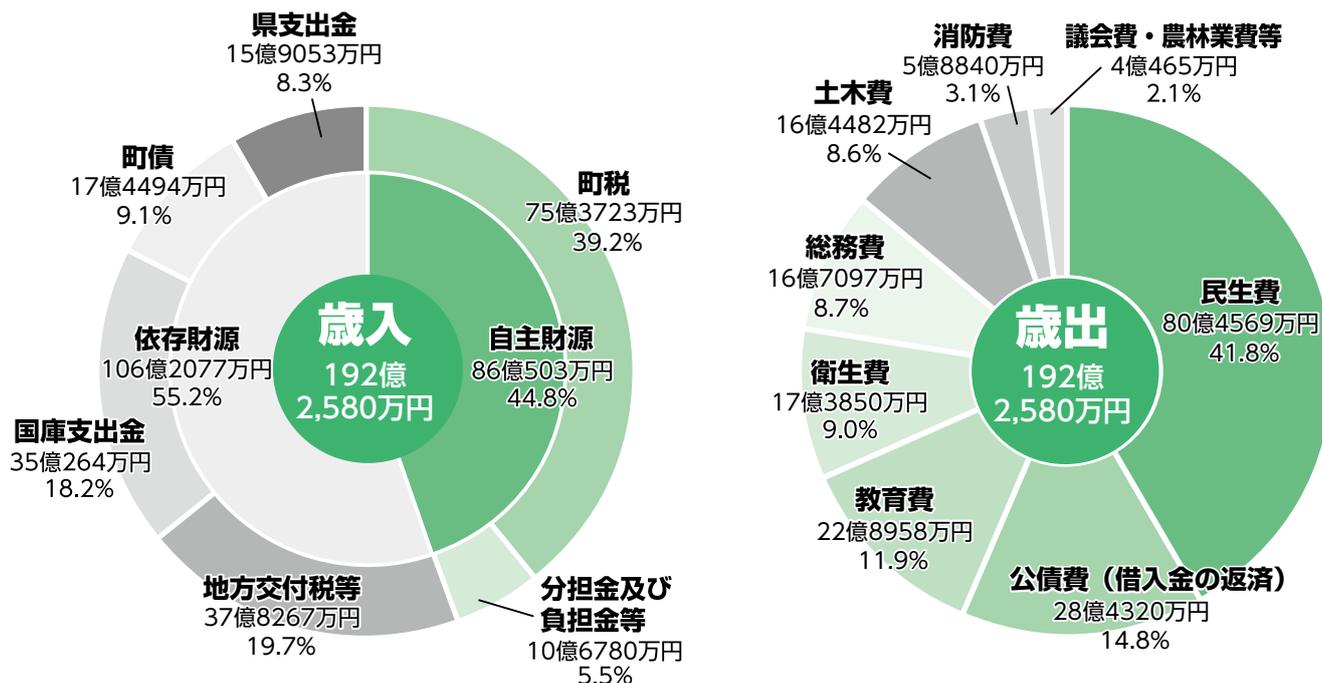
区分	令和5年度
一般会計	192億2,580万円
特別会計	
土地取得	1万円
国民健康保険	44億3,175万円
介護保険	40億2,305万円
後期高齢者医療	8億8,305万円
合計	285億6,366万円

増加していることを反映し、対前年比4200万円増となっています。

下水道事業 支出合計	26億6,138万円
------------	------------

特別会計と下水道事業会計を含めた予算一覧

一般会計予算の内訳



自主財源…町が自らの権限に基づいて自主的に調達する財源 依存財源…国や県の決定に依存する財源

※ 1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

「ゼロカーボンシティ」実現へ、

～美しく恵み豊かな環境を次

令和5年度の主な事業

- | | | | |
|-------------------------------------|-----------|---|-----------|
| ◆子ども医療費給付事業 | 1億5,047万円 | ◆ふれあい収集事業 | 322万円 |
| 令和6年1月から中学生の通院も対象に追加。 | | 要介護や障害等によりごみ出しが困難な世帯を対象に玄関先でごみを収集（令和5年7月～）。 | |
| ◆保育所等創設助成事業 | 2億1,174万円 | ◆向洋駅周辺土地区画整理事業 | 1億7,435万円 |
| 令和6年4月開所予定の新保育所整備へ補助金を交付。 | | ◆JR高架化事業地元負担金 | 2億3,968万円 |
| ◆学校施設整備事業 | 1億8,660万円 | ◆防災体制強化事業 | 2,186万円 |
| 中央小児童数の増加対応のため、教室と放課後児童クラブ教室を増築。 | | 防災備蓄倉庫の整備、避難所の開設・運営マニュアルの作成。 | |
| ◆小・中学校給食食材調達事業 | 2億7,526万円 | ◆新たな働き方改革推進事業
（業務のデジタル化） | 2,432万円 |
| 学校給食費の公会計化に伴い、小中学校の給食を提供するための食材を調達。 | | ◆低炭素型社会づくり推進事業 | 40万円 |
| ◆高齢者いきいき活動ポイント事業 | 4,042万円 | 家庭用発電システム・蓄電池等の購入補助。 | |

予算審査における議会からの主な意見・要望

- ✓ 学校運営改善推進事業における**部活指導員の配置**に際しては、けがや熱中症といった突発的な事故に指導員が対応できるよう、配慮をお願いしたい。
- ✓ **放課後児童クラブの利用**においては、家庭環境の事情による相談等には柔軟に対応してほしい。
- ✓ **子ども医療費助成制度の拡充**は評価できる。所得制限の撤廃など、更なる子育て支援の充実に取り組んでほしい。
- ✓ **長寿祝金制度の一部見直し**は、持続可能な制度とするためやむを得ない面があると考え。しかし、今後の社会情勢の変化を注視し、機会があれば、高齢者福祉事業全体の中で再度検討してほしい。
- ✓ **脱炭素社会の実現**には、町民・事業者をはじめ、町内で活動するすべての人が協働して取り組む必要がある。こうした機運の醸成につながる具体的な支援を今後推進してほしい。
- ✓ **道路の維持補修や新設改良**については、これからも町民からの要望を踏まえ、誰もが安心して利用できる車道・歩道の整備を確実に実施してほしい。また、町民からの要望に未対応の箇所も実施可能な方法を再度検討してほしい。
- ✓ 町民に身近な施設である**公園の遊具や施設の改修**にあたっては、これからも地域住民の意見を積極的に取り入れるとともに、施設を管理する他の部署と連携を取りながら、早急に進めてほしい。



3月定例会 採決結果

◆全会一致で可決した議案

町長提出議案
令和4年度府中町一般会計補正予算（第7号）
令和4年度府中町介護保険特別会計補正予算（第3号）
令和4年度府中町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
令和4年度府中町下水道事業会計補正予算（第3号）
令和5年度府中町一般会計予算
令和5年度府中町土地取得特別会計予算
令和5年度府中町国民健康保険特別会計予算
令和5年度府中町介護保険特別会計予算
令和5年度府中町後期高齢者医療特別会計予算
令和5年度府中町下水道事業会計予算
府中町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
府中町職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について

町長提出議案
府中町子ども医療費助成条例の一部改正について
府中町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
府中町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
府中町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
府中町国民健康保険条例の一部改正について
府中町国民健康保険税条例の一部改正について
府中町道路占用料徴収条例の一部改正について
工事請負契約の締結について
町道路線の変更について
府中町国民健康保険税条例及び府中町介護保険条例の一部改正について

議員提出議案
府中町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

◆賛否の分かれた議案

※○：賛成、×：反対、欠：欠席、議長は裁決に加わりません。

議案	府中町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について (概要) 新規職員のサービスの宣誓方法の一部変更と宣誓書への押印を不要とするもの。																	
結果	川上	宮本	西山	狩野	坂田	田中	山口	二見	梶川	西	寺尾	力山	三宅	齋藤	益田	橋井	児玉	木田
可決	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	×	○	○	○	○	○	○	○	欠

議案	府中町長寿祝金条例の一部改正について (概要) 祝金支給対象者と支給額の見直しを行うもの（77歳、101歳以上を廃止）。																	
結果	川上	宮本	西山	狩野	坂田	田中	山口	二見	梶川	西	寺尾	力山	三宅	齋藤	益田	橋井	児玉	木田
可決	○	○	○	○	○	×	○	×	議長	○	×	○	○	×	○	○	○	○

町政のここが聞きたい

一 般

質 問

町行政全般に対し、14人の議員が16件の一般質問を提出し、町執行部の所信をただしました。

※一般質問とは：定例会の本会議で、議員が町長などに対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、報告や説明を求めることをいいます。

- P5 西 友幸 議員
 - ・家庭教育のあり方と今後の取り組みについて
- P6 西山 優 議員
 - ・スクールソーシャルワーカーの配置と現状について
- 二見 伸吾 議員
 - ・府中町政のデジタル化について
- P7 宮本 彰 議員
 - ・第2次府中町教育振興基本計画の進捗状況
- 三宅 健治 議員
 - ・救急出動について
- P8 川上 翔一郎 議員
 - ・物価高騰に対する町の支援の評価と今後について
- 益田 芳子 議員
 - ・保育の質と保育士確保の処遇改善は

- P9 力山 彰 議員
 - ・府中町観光マップなどの充実を
- 橋井 肇 議員
 - ・避難行動要支援者に関する取り組みについて
- P10 児玉 利典 議員
 - ・子どもの予防的支援構築事業の進捗は
- 寺尾 光司 議員
 - ・集団回収など資源循環への支援を
- P11 狩野 雄二 議員
 - ・町内公園の整備と管理について
- 齋藤 昇 議員
 - ・道路破損などの通報システムの整備について
- P12 田中 伸武 議員
 - ・補助街路の整備について

問 新型コロナウイルスのまん延により、様々な活動が制約を受けました。家

答 家庭は、子どもが人格を形成し、人間関係を築き社会で生きていく力を育む最も重要な場であると考えます。生活習慣や善悪の区別、社会ルールを順守する態度など、乳幼児期から、しっかりと身につけていくことが大切で、そのためにも家庭教育支援が重要だと認識しています。

問 将来を担う子どもたちにとって、学力向上に向けた教育とともに、道徳教育や家庭教育が重要です。家庭教育のあり方と支援に対する教育長の思いを聞かせてください。

家庭教育支援における影響や今後に向けた思いは。

答 町では、平成20年に「府中町における家庭教育のあり方」の提言をとりまとめ、啓発活動を展開してきました。また平成25年4月には家庭教育支援チーム「くすのき」を結成し、

家庭と地域・学校をつなぎ、地域全体で子育て・親育ちを応援する取り組みを進めてきました。現在、新型コロナウイルスの影響で、集合型学習の機会は十分ではありませんが、チーム「くすのき」の活動を通して、今後も家庭教育支援を進めます。



にしともゆき 西 友幸 議員

答

今後も継続して支援する

問

家庭教育への取り組みは



家庭教育支援チームが主催する親の力を学びあう学習プログラム



にしやま まさる 議員
西山 優

問 町立学校のSSWの配置は

答 中学校区単位で配置し活動



問 SSW（スクールソーシャルワーカー）は、

児童、生徒が学校で困っていることを、保護者や教員、地域と協力・連携をし、また環境面のサポートもしながら解決をしていく役割を担っています。特に進級や進学を迎える時期は悩みを抱える機会も多いと思いますが、

SSWの配置について伺います。

答 平成27年度から府中中学校区、平成30年度からは府中緑ヶ丘中学校区にSSWを配置し、今年度は各中学校区に1名ずつ計2名配置しています。

問 具体的な職務内容と成果は。

答 週当たり3日程度勤務し、中学校を起点として校区内の小学校にも巡回しています。

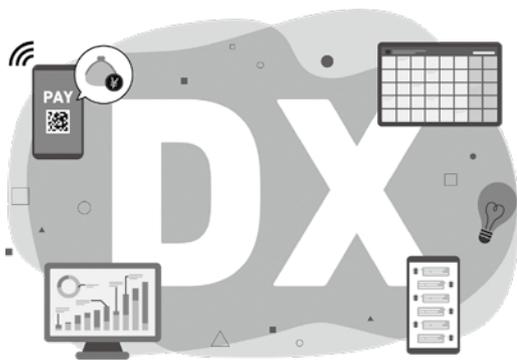
職務内容としては、不登校、いじめや暴力行為等の問題行動、児童虐待等の課題を抱えている児童生徒を早期に発見し、学校でケース会議を行った上で、家庭訪問や福祉部局等の関係機関と連携を取りながら児童生徒の置かれている環境への適切な支援などを行っています。不登校児童生徒の割合は、小中学校ともに県平均を下回っており、今後も、SSWを効果的に活用して児童生徒が抱える問題の早期発見・早期対応に努めます。



ふたみ しんご 議員
二見 伸吾

問 デジタル外部人材の任用は

答 任用は想定していない



デジタル体制づくりを推進

ます。

強力な権限を持ち、全庁的なデジタル変革を進める役割を外部人材に任せることは自治体を弱めることになるのではないのでしょうか。

答 外部のデジタル人材は極端に少なく、小規模な自治体が単独で確保することは困難であり、ほとんどの自治体

◆自治体DXとは…デジタル技術やデータを活用した行政サービスにより、住民の利便性向上を目指すもの。

問 地方行政のデジタル化は、オンライン化された事務処理手続の単なる拡大ではない側面をもっています。「自治体DX推進手順書」は、十分な能力・スキルや経験を持つ職員を配置することを求めており、民間企業の外部人材の活用を検討することも必要だとしてい



健やかな学びを支援



みやもと あきら 議員

問 教育振興基本計画の進捗は

答 検証しながら着実に実施



問 令和7年度までを計画期間とした、第2次府中町教育振興基本計画に基づき、安心・安全で質の高い教育環境の整備が進められています。計画途中の確認となりますが、小学校の英語が教科となりました。現状と課題は。

答 第5学年・6学年に週2時間の英語教育を実施しています。今年度の小学校の調査で「英語の授業はよく分かる」と答えた児童は県平均を1・6ポイント下回っており、中学校の外国語教員による小学校教員への情報共有や研究授業など、改善に向けた取り組みを進めています。



小学校の教科となった英語教育

問 家庭教育支援の取り組みとして、子育て支援プログラム「親プロ」を主催しています。令和2年度からの講座回数、受講者数と来年度からの展開方法は。

答 「親プロ」講座は、子育て準備期、子育て前期・後期、子育て支援期の段階に応じた内容で実施しています。

令和2年度10回（142人参加）、令和3年度6回（42人参加）、令和4年度28回（382人参加）開催しています。来年度は、今年度と同じ28回を計画しています。今後も講座等を通じて、家庭教育支援の充実に取り組みます。



みやげ けんじ 議員

問 救急出動への対応状況は

答 搬送困難事案も倍増



問 消防庁によると、全国の救急車の出動は令和元年に過去最多の663万件を記録しました。また令和4年についても、全国各地から過去最多との報告が相次いでいます。

答 命を救うために一刻も早く医療機関へ搬送しなければなりません。それができないケースが全国的に増えています。町内の救急出動件数と今後の予測は。

答 近年は、高齢化の進展や新型コロナウイルス感染症の流行を背景に、救急出動の要請理由が多様化するとともに、件数も増加しています。直近5年間では、約2000〜2200件前後で推移しています。



救急体制の充実・強化が重要

たが、昨年は2672件と過去最多を更新しました。また国の調査によると、救急要請件数、搬送人員は令和12年まで増加を見込んでおり、町でも同様の傾向であることから、今後も増加すると予測しています。

問 救急搬送困難事案の発生状況は。

答 医療機関への受入れ照会回数が4回以上となった事例は、令和3年が93例、令和4年が204例と倍増しています。今後も関係機関と連携した救急体制の充実・強化が重要と認識しています。

その他の質問

・部活動の地域移行について





かわかみ しろう 川上 翔一郎 議員

問 物価高騰支援の評価は

答 目的に沿って効果的に実施



どう評価しますか。

な事業だったと考えます。

問 ウクライナ情勢に伴う物価高騰は、町民生活にも大きな影響を及ぼし、いま現在も苦しい状況が続いています。町では町民生活支援クーポン等の支給を行い、一定の評価を町民から得られたのではないかと思っています。今回のクーポンや緊急給付金を

答 クーポン券利用総額は、2億5524万6千円、発行総額に対する利用割合は96・3%です。給付金事業は、住民税非課税世帯4419世帯と申請のあった家計急変世帯35世帯に支給しました。

問 クーポン事業に参加した町内事業者の割合は。

答 全事業者数を把握していないため、割合は分かりませんが、登録事業者数は397件と、これまで実施した同様の事業で一番多くの登録がありました。

問 今後の物価高騰に対する町の対応は。

答 町独自でクーポン事業などを行うことは困難ですが、国・県等が財源を負担する場合は引き続き、町民が生活の中で支援を実感できるようにしていきたいと考えます。



好評だった町民生活支援クーポン

問 保育環境整備の状況は

答 様々な施策に取り組む



問 保育士への処遇改善の取り組みは。

答 令和3年2月から令和4年9月まで、保育士等の収入を3%（月額9千円）程度引き上げるため、補助金を交付しました。また10月からは、公定価格に処遇改善分を含んで各園に交付しています。

問 保育士確保に向けた近隣市町の支援状況は。

答 主には処遇改善、就業支援、離職防止を大きな柱に支援している状況です。町としても保育の質向上を図るため、また保育士不足の状況にならないよう、様々な施策に取り組んでいます。



子どもを安心して預けられる環境づくり

問 幼児教育無償化は、一定の評価がある一方、待機児童の受け皿の整備と保育の質の向上に対する要望が年々強くなっていると感じます。子どもを安心して預けられる環境づくりは、町の重要な事業と考えますが、取り組み状況は。

答 町の保育所等で構成される保育研究会に毎年研修費の補助を行うなど、保育の質向上の取り組みを進めています。また受け皿整備では、新しい保育所を、令和6年4月に開園する予定です。



りきやま あきら 議員

問 史跡などの魅力発信の充実を

答 新たな取り組みで周遊を促進



問 当町は、安芸の国府が置かれたともいわれる古い歴史を持つ町で、多くの人が町内の史跡・遺跡を訪れています。このなかには、案内板がない場所や、劣化している場所が見受けられますが、再整備の考えは。

答 全体的な再整備を行う予定はありませんが、少なくとも年に1か所ずつ更新を行っています。また記載内容を変更する際は、専門家などの指導を受けて更新しています。

問 史跡・遺跡への道案内板を設置したり、町の紹介冊子「府中町観光マップ」へ史跡情報にアクセスできるQRコードを掲載したりすることはできませんか。



案内冊子で町の魅力を紹介

答 史跡・遺跡への道案内板は現在設置していませんが、より分かりやすく道案内する方法を調査研究します。またQRコードは、掲載に向けて検討します。

問 新たに作成する「府中町おでかけ案内冊子」

の内容と活用方法、配布先は。

答 飲食店等の情報も掲載し、観光客の周遊を目的とした冊子で、3月末に発行します。町内施設のほか、広島駅などにも置き、観光情報を広く発信していきます。



はしい はじめ 議員

問 個別避難計画の作成は

答 支援関係者等と連携して



問 名簿の活用や、個別避難計画作成の課題と今後の取り組みは。

答 避難支援等関係者へ提供する名簿の保管方法など、他自治体の先進事例を参考に関係団体との協議が必要です。また、個別避難計画は、

福祉・医療関係者と支援方法の協議を進め、早急に取り組まなければならぬと考えます。また、介護保険の新規認定時やケアマネージャー、相談支援専門員を通じて支援制度の情報提供や制度周知をあわせて進めます。

問 東日本大震災の教訓として、障害者、高齢者、外国人、妊産婦等の災害時避難行動要支援者の名簿を作成することが法律で義務化されました。また要支援者の個別避難計画を作成することも市町村の努力義務とされ、約7割の市町村が「作成済み」・「一部作成済み」となっています。町の取り組みの現状は。

答 令和5年2月末現在の町内の避難行動要支援者は1449人で、うち名簿提供同意者は82・95%です。また個別避難計画は、今年度作成に向けて福祉・医療関係者に事業説明を行い、協力を依頼したところですが。



“いざ”というときに備えて



こ だ ま と し の り
児 玉 利 典 議員

問 予防的支援構築事業の状況は

答 3月下旬に成果を報告



関係者で情報共有し、健やかな育ちを支援

問 子どもの予防的支援構築事業がデジタル庁で採択され、令和4年4月から、実証事業が進められてきました。今年度中に成果をとりまとめると聞いています。現在の状況は。

答 まず、母子保健デー

タの分析を行い、令和4年10月に、デジタル庁がまとめた中間報告を受けました。「支援対象児童と関係機関への調査方法」「児童宅に直接訪問等する場合の配慮」「検証方法」などの課題について報告がありました。その後、再分析を進め、令和5年3月下旬に成果

報告をする予定です。

本事業は、システムを利用した児童虐待の未然防止に向けた先進的な取り組みです。「事業の検証」を繰り返しながら、「子どもの育ちにつながるリスクを早期に把握し、関係者で情報共有して予防的支援を行うことにより、子どもが心身ともに健やかに育つ」という目的達成のために切れ目のない支援ができるよう、事業を進めていきます。

問 今後の課題は。

答 本格的な調査開始に向けて、本事業の目的や調査方法について周知していくことと、「個人情報」の取り扱いについての整理が、大きな課題です。



て ら お こう し
寺 尾 光 司 議員

問 集団回収など資源循環支援は

答 活動ノウハウなど情報を提供



問 ごみ排出量の令和3年度実績によれば、家庭系ごみは削減できていますが、事業系ごみが増加しています。今後、一層のごみ排出抑制、資源循環、適正処理が求められますが、事業系ごみに対する取り組みは。

答 現在の取り組みとしては、事業ごみ減量・リサイクルガイドブックの作成・配布を行っています。今後は、排出されるごみの特徴を調査し、効果的なごみの減量の提案を行うなど、事業者と連携した取り組みを進めます。

問 集団回収の実態は。

答 現在29の町内会が活動され、年間回収量は

456トンと、町全体の資源物収集量の約2割を占めています。今後も、新たな活動を希望される町内会には、活動ノウハウや回収業者の紹介など、情報提供します。

答 要介護や障害等のため、歩行等が困難な世帯を対象に、玄関先でごみを収集するもので、令和5年7月から開始します。4種類に分別されたごみを、週に1回、業者が無料で回収します。また利用は約40世帯を見込んでいます。



みんなで取り組む「3R」



かの狩野 ゆうじ 議員

問 町内公園の整備と管理は

答 適切な維持管理に努める



リニューアルされた複合遊具（えの宮公園）

問 総合計画改訂の際のアンケート結果として、町の良くない点の上位に「公園が充実していない」という項目があります。遊具や設備の問題かと思いますが、遊具の整備状況は。

答 町内の公園には180基の遊具があります。

設置から20年を超えたものが全体の8割と全国平均の5割を大きく上回っており、町では令和4年3月に策定した「公園施設長寿命化計画」に基づき適切な維持管理を進めています。

問 遊具利用による事故件数は。

答 令和2年1月～令和5年1月末現在で9件発生し、県・国に報告する必要がある重大事故は、令和2年に1件発生しています。この事故は、本来の利用方法以外の遊び方による事例で、遊具の不具合はありませんでした。

問 1人当たりの公園面積は。

答 現在の公園面積は4・54㎡で、当町は人口密度が高いこともあり、近隣市町と比べて少なくなっていますが、みくまり峡森林公園なども含めると16・5㎡となります。また今後向洋駅南口に2000㎡規模の公園なども整備する予定です。



さいとうのぼる 議員

問 道路補修の連絡手段は

答 LINEの活用も検討



問 迅速な道路管理を進めるため、無料アプリであるLINEなどを活用し、町民が気軽に利用しやすい通報システム整備の検討は。

感じ取れるという利点があり、コンパクトな当町の町域からすると最も有効であると思います。

今後、幅広い層からの通報を促進するという観点から、LINEなどを活用した通報の受け付けについて、他市町の動向を注視しながら調査・研究を進め、第5次総合計画で事業化に向けた検討を進めます。

答 道路補修が必要な箇所の確認方法には、道路パトロールなど職員によるものと、住民や道路利用者からの通報の2種類があります。住民からの情報提供は電話が主で、その後の対応については、担当職員が即日現地を確認し、町の管理物で緊急性が高い場合は「補修対応」を行い、緊急性の低い場合は「経過観察など」としています。

電話による通報手段は、通報のスピード、現場の生の声が聞け、緊急度や臨場感が直接



通報を迅速な道路管理につなげる



たなか のぶたけ
田中 伸武 議員

問 補助街路の整備は

答 計画的な事業推進を図る



災害時避難にも役立つ補助街路

道路です。

本事業の住民や事業者への周知は、町公式ホームページで「補助街路ネットワーク基本構想図」と「補助街路整備事業パンフレット」を公表しています。町内には、依然として幅員4m未満の道路が多くあり、当事業を積極的に進めていくことが必要です。

今後も、国土強靱化地域計画や都市計画マスタープランなどの計画に補助街路事業を含めた道路事業を位置づけ、計画的な事業の推進を図っていきます。

その他の質問

・公園でのボール遊びについて



問 府中町にとって、生活道を便利にし、災害避難にも役立つ独自施策の「補助街路整備事業」は、有効な手立てと期待されます。

事業の内容、周知、事業推進への誘導支援策の工夫は。

答 本事業で整備する補助街路とは、①歩行者、自転車及び自動車が安

全で快適に通行できる交通機能の向上を図る、②緑、日照及び通風の確保により良好な住環境の向上を図る、③避難路の確保及び消防活動困難区域の解消により地域防災の強化を図る、という3つの基本理念により、道路の幅員は原則6mで、概ね250m間隔の格子状に配置することを基本とした町長が指定する

研修会報告

広島県町議会議長会・安芸郡町議会議長連絡協議会研修会

広島県町議会議員研修会 ～人生100年時代の地方創生～



2月22日、メルパルク広島で開催された議員研修会に参加しました。この研修会では、東京大学大学院教授の牧野篤氏を講師に迎え、「人生100年時代の地方創生～「ふるさと」をつくる・つなぐ～」と題して、少子高齢人口減少社会において求められている「居場所づくり」「つながりづくり」の取り組みについて、講師が各地で実践的に取り組んでいる事例を交えて紹介されました。

安芸郡町議会議長連絡協議会研修会 ～なりたい大人、夢見る場所、帰りたい町～



2月2日、安芸郡4町の町議会議員を対象とした研修会をくすのきプラザで開催しました。講師には、府中町PR大使で漫画家の田中宏氏を迎え、「なりたい大人、夢見る場所、帰りたい町」と題して、広島を拠点に活動する中で感じてこられたことなど、自身の経験を交えて紹介されました。また講演後には、若い世代の才能の伸ばし方や支援などについて意見交換しました。



委員会レポート

3つの常任委員会（総務文教・厚生・建設）の活動状況を報告します。

総務文教委員会

障害のある児童生徒への学習支援の状況を確認

◆第1回委員会（2月27日開催）

●障害児の学習支援について
インクルーシブ教育*の考え方や対応状況、また町内の通常学級に通う障害のある児童生徒への支援員の配置について確認。

【主な質問】

問 町における支援員の配置人数の状況は。

答 国の示す基準より倍の人数の支援員を配置して、対応している。

*インクルーシブ教育とは…障害の有無などに関わらず、すべての子どもが共に学びあう教育のこと。



厚生委員会

次期地域福祉計画案について報告

◆第1回委員会（1月23日開催）

●府中町第3次地域福祉計画（案）について
地域福祉を推進するための基本理念と方針を定める、次期地域福祉計画案（計画期間：令和5～9年度）について報告。

【主な質問】

問 福祉ボランティアなど担い手確保が重要だが取り組み状況は。

答 コロナ禍による活動制限により取り組めていなかった部分も含め、今後、制度の周知・拡大を図りたいと考えている。

◆第2回委員会（2月28日開催）

●下水道工事の工事請負契約締結についての報告。

【工事箇所】

関連公共下水道（山田五丁目）

※下水道の人口普及率
令和4年度末 98・9％。

建設委員会

公園の遊具設置等に関する契約締結について報告

◆第1回委員会（3月1日開催）

●都市公園の遊具設置工事について、プロポーザル方式で相手方を選定し、契約を締結したことについて報告。

【対象公園】

石井城公園、大樋の口公園、えの宮公園

【主な質問】

問 各公園に設置する遊具の種類はすべて同じものか。

答 同じものだが、公園の広さにより形状を変えて設置している。

●道路の維持補修と道路改良工事（柳ヶ丘49号線）の工事請負変更契約の締結について報告。



全員協議会報告 南公民館の計画を1年延伸 ～実施計画の一部変更～

2月24日に開催した全員協議会で、総合計画の後期実施計画（令和3～7年度）計画事業のうち、町民生活への影響が大きい3事業の変更等について説明を受けました。

◆説明内容

●南公民館改築事業を1年延伸

計画策定(令和2年度)以降に生じた新たな課題(浸水想定区域の指定や想定交通量の変化)を検討するため、計画を1年延伸し再検討を行う。

※事業完了見込みは令和10年度。

●子ども医療費、中学生の通院まで対象を拡充。(令和6年1月～)

●中央小学校の校舎を増築し、教室不足を解消。(令和5年度)

◆主な意見・要望

●地域コミュニティ醸成の場、また、社会教育を推進する場として大きな役割を果たす南公民館の機能が損なわれることのないよう、十分検討してほしい。

●南公民館について、現在地での建て替えが難しいとの結論となった場合は、町民が有効に使えるよう、跡地利用計画もあわせて検討してほしい。

◆その他の議題

- 使用料、手数料等、受益者負担の適正化について
- 国民健康保険税（国保税）の改正について

議会の動き

1月

- 11日 議会報特別委員会
- 23日 厚生委員会

2月

- 2日 安芸郡町議会議長連絡協議会研修会
- 22日 広島県町議会議長会議員研修会
- 24日 全員協議会
- 27日 総務文教委員会
- 28日 厚生委員会

3月

- 1日 建設委員会
- 8日 議会運営委員会
- 9日 議会報特別委員会
- 10日～22日 3月定例会
- 13日～20日 予算特別委員会
- 22日 議会報特別委員会

自治功労者表彰 地方自治進展に寄与

町議会議員として永年の功労により、広島県町議会議長会から2名が表彰されました。



山口 晃司 氏



西 友幸 氏

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は6月下旬の予定です。



事前申し込みは不要です。
ぜひ、お気軽にお越しください。

表紙の紹介



祭りや運動会、道路や公園の清掃など地域を住みやすくするために町内会には活動しています。近年は町内会に入る人が減り、行事などに支障が出ることも。そこで、転居シーズンである4月当初に、町内会連合会役員のみなさんが役場入口で加入を呼びかけました。

編集後記

〈風薫る季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。〉

初夏を感じる季節となりました。初夏とは、5月から6月くらいまでを指す言葉です。木々が茂り始め、春の涼しい季節を感じられ、外での活動に最適な時期です。新型コロナウイルス感染症の規制が緩和され、卒業式、入学式、そして入社式など、新しい環境の変化に希望と不安が入り混じる時期でもあります。

新たな出発をされた皆様とともに、私たち府中町議会議員も、未来に向かってともに励まし合い、町を育てていくため力を注いでいきます。

(西山 優)